

ここが聞きたい!

# いっぱん

## 島根リハビリテーション学院を大学に

大垣照子 議員

**町長** 理事会や学院長との協議を考えている



**問** 島根リハビリテーション学院は、開学以来、本年18回目の新入生を迎え、この17年間で約700人の卒業生を世に送り出してきた。超高齢社会を迎え、更なる高度で専門性を身につけた人材が求められている。将来展望を持つ中で、専修学校から大学への格上げが必要、町長の考えは。

**答** 当学院は、文部科学省から高度専門士、職業実践専門課程の認定など4年制の専門学校の評価は高い。国の動向を見極め、理事会や学院長とも協議の必要性を考えている。

**問** 当学院は、開学時から4年制の専修学校としてスタートしており、学

生の在学期間に変化はない。雲南地域には、専修学校も大学もなく、雲南市や飯南町へ協力を要請し、福祉専門の拠点大学に、**答** 助言をいただいたが、学院と県立大学がいろいろ各分野で議論しており、時間をいただきたい。

**問** 入学生数が減少しており、学生の獲得が大変な現状がある。少子化や立地等の問題もあるだろうが、学院の将来のあり方や優秀な人材の発掘と育成のために、更に強力に進められたい。

**町道高尾線の早期改良** について昨年、同僚議員の質問に、「事業着手できなかった要因と意見聴取を行う」と答弁。その要因は何であったのか。

**答** 合併後は、尾原ダム事業に合わせ関連町道整備を最優先したため、新規着手ができなかった。重要路線と認識している。事業中の路線の進捗状況を見ながら、大型路線の高尾線新規着手を判断し

たい。

**問** 40年も手をつけず、路面はゆがんだり下がったり、また、道幅が狭く積雪時に大型車が通ると、通学時の小学生はよけ場がない。一番怖いのは、側溝が分ならず落ちて怪我でもしたら、誰が責任をとるのか、速やかに進められたい。

**答** 趣旨は深く理解している。

**問** 役場の端末は、個人情報や宝庫。来年1月よりマイナンバー制度の導入が予定され、納税や社会保険、災害関連などの行政手続きに利用されるが、最終的には、多くの個人情報を一枚のカードに納めるもの。サイバー攻撃を受けると自分の知らないところで不正利用され、大損害を受け恐怖の代物となる。セキュリティ対策は。

**答** 川本総務課長

現況は、インターネットに接続の全てのパソコンにウイルス対策のソフト



狭隘で危険な一級町道高尾線

トを導入。ウイルス感染の防止対策やウェブサイトの閲覧禁止対策を講じている。職員への個人情報保護・不正アクセス防止に努め徹底していく。

**問** 職員への十分な研修、教育、訓練が必要。また、第三者によるチェックや管理体制、個人情報の適正な扱いを監視する個人情報保護委員会新設の考えは。

**答** 川本総務課長

職員研修は重要で、更に進めたい。委員会等は、今後検討する。